



国土交通省北陸地方整備局

富山河川国道事務所
金沢河川国道事務所



記者発表資料

令和 6年 4月1日
配布: 富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
扱い: 配布後解禁

富山・石川県境部の道路の機能強化について 検討結果をとりまとめました

これまで、富山県西部及び石川県中能登地区において、国道160号の災害等に対する脆弱区間を踏まえ、規格の高い能越自動車道や、のと里山海道を補完する道路の機能強化に向けた調査検討を、国、富山県、石川県で連携して行ってきたところです。

この度、検討結果をとりまとめましたのでお知らせします。
引き続き、関係機関で連携し、国道415号県境部について、調査検討を進めます。

お問い合わせ先

◇富山河川国道事務所 計画課長 つじ ひろかず 辻 裕和
おくだ しんまち
住所：富山県富山市奥田新町2番1号
TEL：076-443-4717（直通） FAX：076-443-4718



[富山河川国道事務所HP]

◇金沢河川国道事務所 計画課長 みずの りきと 水野 力斗
さいねん
住所：石川県金沢市西念4丁目23番5号
TEL：076-264-9912（直通） FAX：076-233-9631



[金沢河川国道事務所HP]

検討体制

機関	所属
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所	計画課
国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	計画課
富山県	土木部 道路課
石川県	土木部 道路建設課

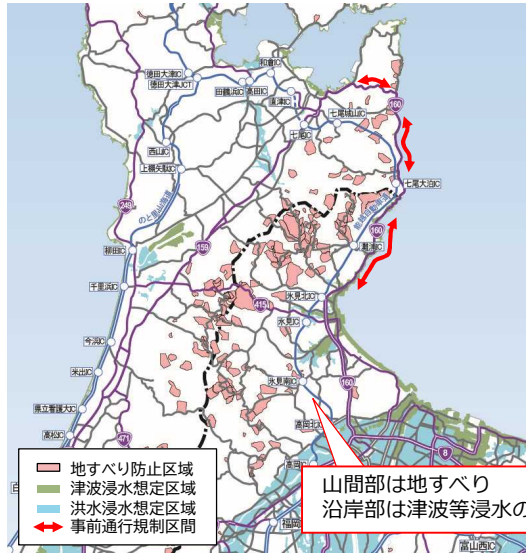
(順不同)

1. 富山県西部・石川県中能登地区における道路・交通の課題（まとめ）

災害リスク

緊急輸送道路である高規格道路・幹線道路における**災害リスクが高い**

ハザードマップ



令和6年能登半島地震による被災



冬期交通

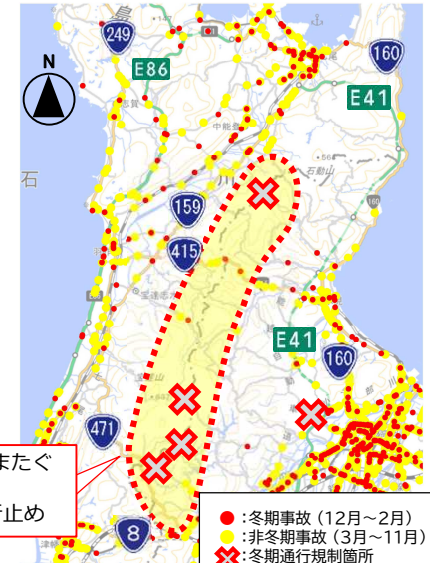
冬期通行止めや立ち往生発生により**冬期の通行確保ができない**

令和6年1月23日～24日の通行止め時系列

北陸自動車道	通行止め (集中除雪)	通行可能→
国道8号	通行止め (集中除雪)	通行可能→
国道304号	通行止め (集中除雪)	通行可能→
国道359号	通行止め (令和6年能登半島地震被災)	通行可能→
国道415号	通行可能→	立ち往生発生
国道471号	通行可能→	立ち往生発生

19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 0:00 1:00 2:00
1月23日 1月24日

事故発生状況



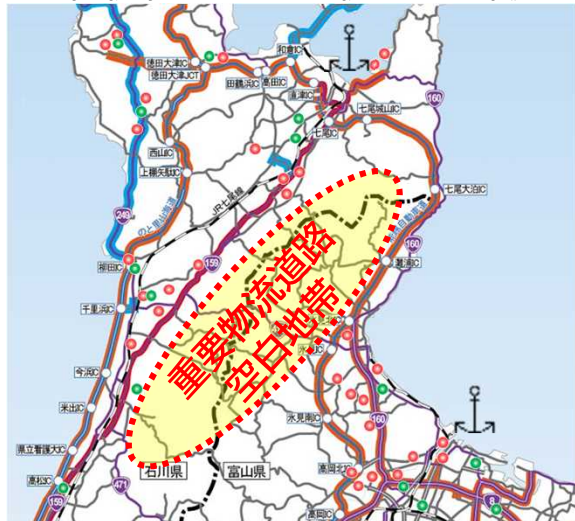
富山石川県境をまたぐ
13路線のうち、
4路線が冬期通行止め

出典：ITARDAデータ（R1～R4）、冬期通行規制箇所：冬季閉鎖箇所一覧（JARTIC）

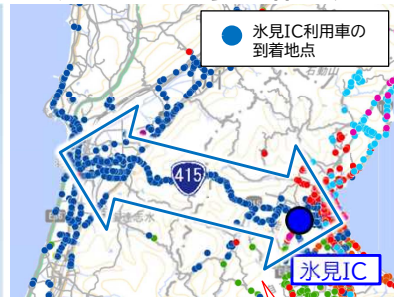
産業支援

産業・物流拠点が多数存在するが、**安定的な輸送ルートが未形成**

企業・物流拠点の立地及び重要物流道路の指定状況



能越道氷見ICからの到着地点分布



能越道と
のと里山海道を
つなぐ
国道415号の
物流需要が多い

調査データ:ETC2.0走行履歴
分析期間:R元年1～12月(平日)
分析対象:能越自動車道ICを利用する大型車・貨物車

観光支援

ポテンシャルが高い観光資源を**周遊するネットワークが未形成**

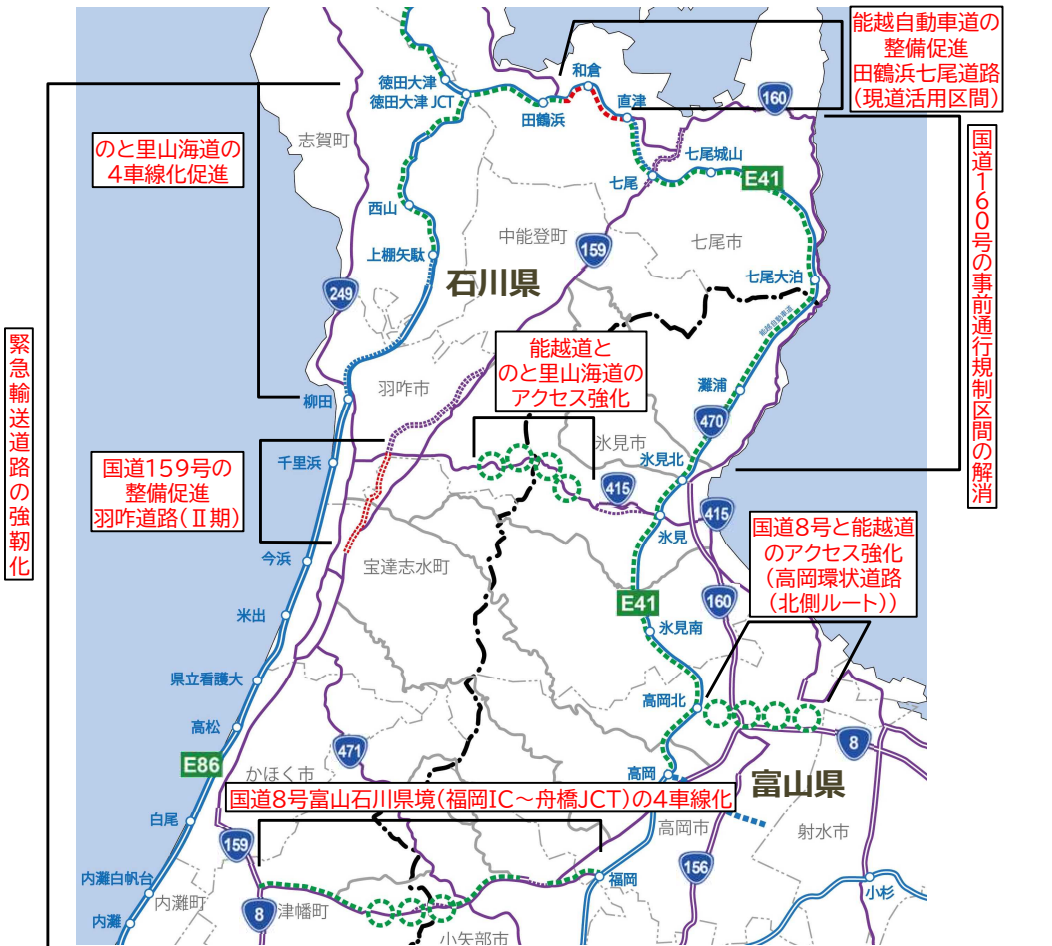


2. 富山県西部・石川県中能登地区の道路ネットワークの状況

- 物流強化、観光立国の推進、災害に対するネットワークの重層化のため、能越自動車道と国道160号、のと里山海道と国道159号の強化に加え、これらエッセンシャルネットワークへアクセスする国道415号の強化が必要。
- 富山県西部地区・石川県中能登地区を縦貫する主要幹線道路の「能越自動車道」「のと里山海道」及び、「国道159号・160号」を補完する道路である国道415号のうち、県境区間に残存する未改良区間について検討。

■富山県西部地区と石川県中能登地区の道路ネットワークのあり方(案)

■優先区間の抽出



	高規格道路		凡例		富山県西部地区と
	4車線以上		— 県境区間を接続する路線		石川県中能登地区
	2車線		— 連続性を確保する路線		を結ぶ範囲
	事業中		— 機能強化する路線		
	事業中		— 機能強化する路線 (ルート未確定)		

- 重要物流道路空白地帯**
- ・狭幅員
 - ・曲線縦断線形不良
 - ・冬期通行障害
 - ・災害発生リスク

国道415号

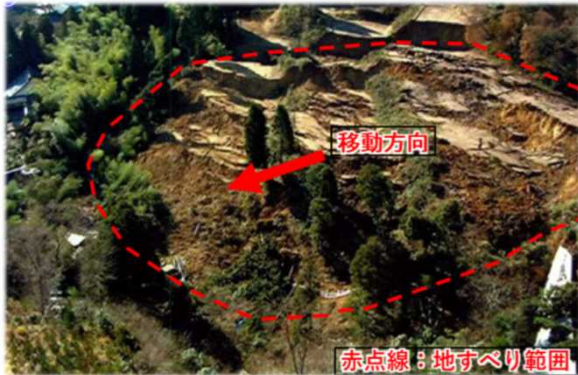
3. 国道415号富山・石川県境部の現状

整備状況

県境部に残る未整備区間



国道415号 (水見市熊無) (急カーブ)



平成14年11月16日に発生した地すべり(水見市谷屋)

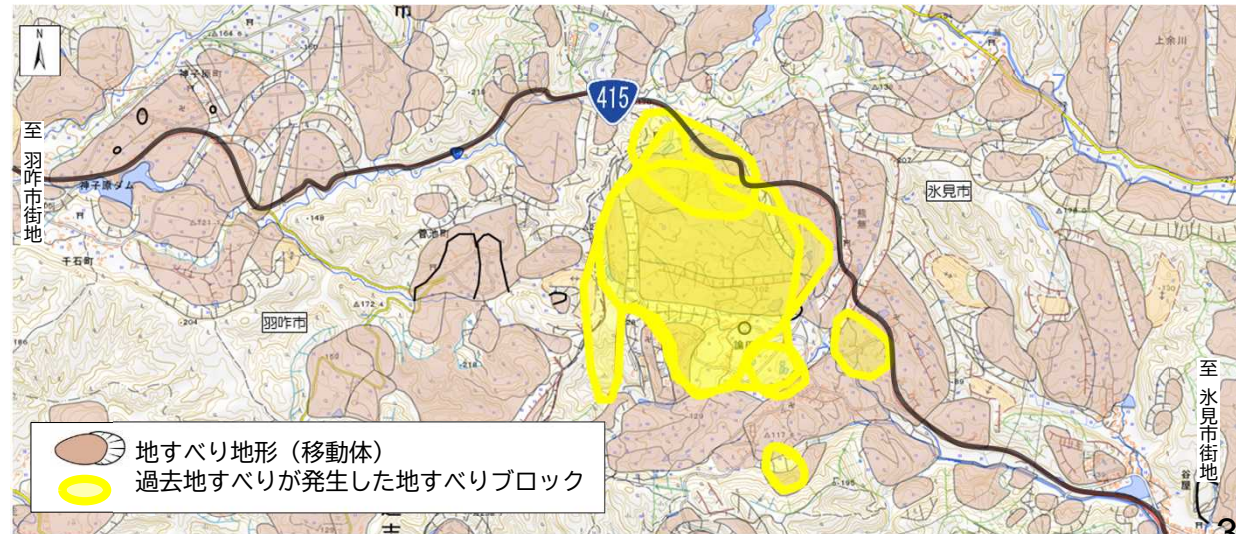
道路構造

最大9%の縦断急勾配区間や最小曲線半径35mの急カーブ区間が存在



地すべり地形

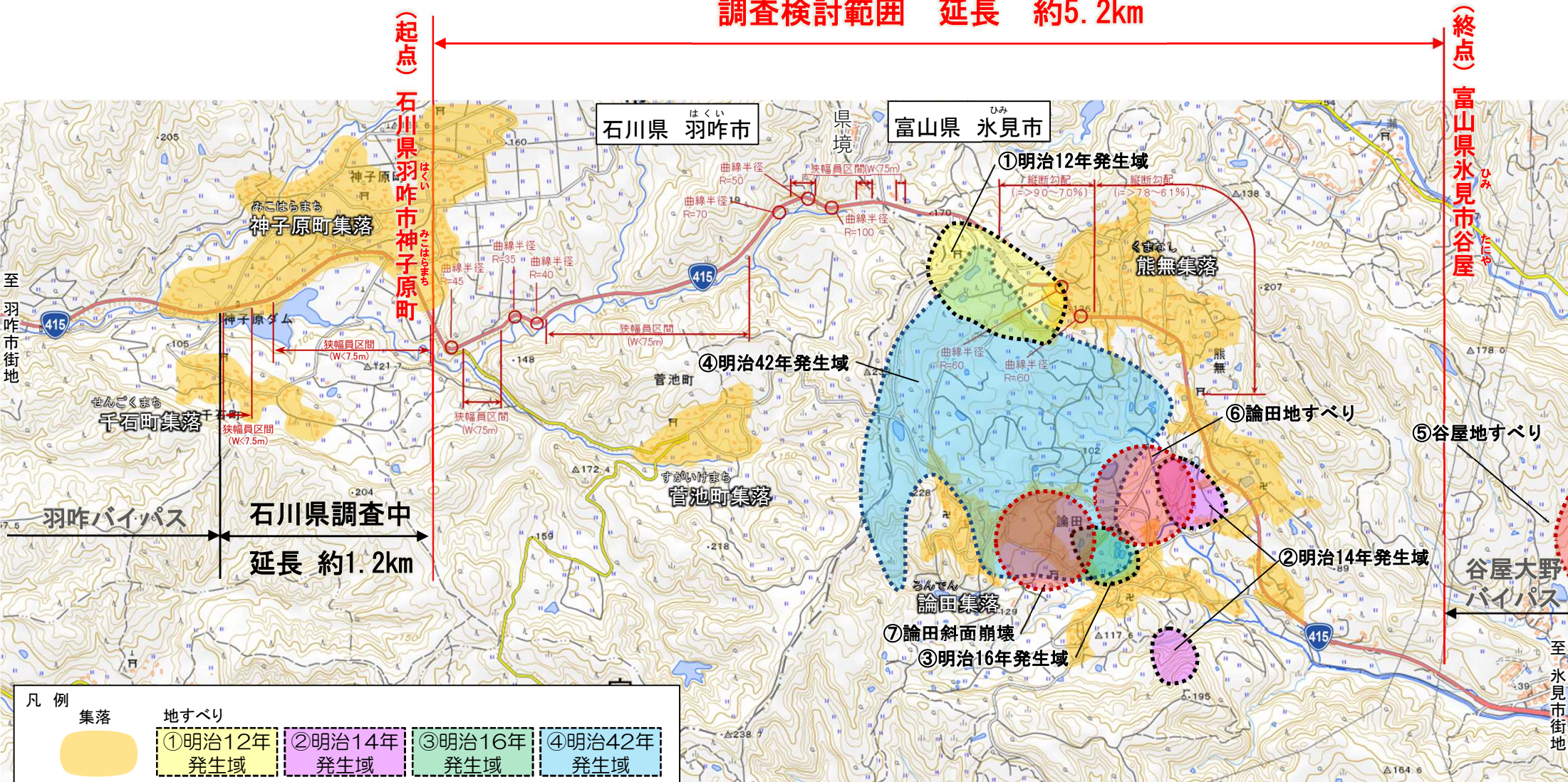
富山県側に存在している大規模な地すべり地形



4. 今後の調査検討について

- 国道415号の県境部については、現状の課題や令和6年能登半島地震を踏まえ、早期に概略計画の検討を進める。
- 検討範囲は、県境区間のうち、道路構造の課題（狭幅員、平面・縦断線形不良箇所）及び地すべりの実績を考慮し、羽咋市神子原町～氷見市谷屋間の約5.2kmとする。

調査検討範囲 延長 約5.2km



凡例	集落	地すべり
	集落	①明治12年発生域
		②明治14年発生域
		③明治16年発生域
		④明治42年発生域